

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

## 編集後記

---

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要

(巻 / Volume)

61

(発行年 / Year)

2000-03-24

# 法政大学国文学会会則

二〇〇〇年現在

## 第一章 名 称

第一条 本会は法政大学国文学会と称する。

## 第二章 目的および事業

第二条 本会は法政大学における日本文学研究の伝統を継承し、科学的創造的日本文学研究を推進することを目的とし、あわせて会員相互の親睦をはかる。

第三条 本会は前条の目的を達成するため左の事業を行う。

- (一) 研究会、講演会、親睦会の開催。
- (二) 機関誌その他の発行。
- (三) 他の学会、研究団体との成果の交換。
- (四) その他右の目的にそう事業。

## 第三章 会 員

第四条 本会は左の会員によって構成される。

- (一) 法政大学文学部日本文学科の現教員、および前専任教員。
- (二) 法政大学文学部第一部第二部日本文学科

在学学生および卒業生(旧制をも含む)。

- (三) 法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻在学学生および卒業生。
- (四) 法政大学通信教育部文学部日本文学科在学学生および卒業生、また高等師範部国漢科卒業生で、入会を希望するもの。
- (五) その他評議会において推薦されたもの。

## 第四章 役員および機関ならびに会議

第五条 本会に左の役員をおく。

- (一) 会長 一名 会長は会を代表し、総会、評議員会および委員会を招集し、これを主宰する。
- (二) 副会長 一名 副会長は会長を補佐するとともに、会長に事故あるときにはその職務を代行する。
- (三) 評議員 若干名 評議員は会長の諮問に応じ会務の重要事務を審議する。
- (四) 委員 若干名 委員は会務の企画、立案、執行にあたる。
- (五) 常任委員 若干名 常任委員は日常の会務処理にあたる。
- (六) 会計監査委員 二名

第六条 会長は総会において、会員の中から選出する。副会長は日本文学科主任教授がこれにあたる。評議員は日本文学科専任教員がこれにあたる。委員および会計監査委員は総会

において選出する。

常任委員は委員が互選する。

会長の任期は二年として、再任を妨げない。

副会長の任期は、日本文学科主任教授在任中とする。会長を除く役員は任期は一年として、再任を妨げない。(なお、会長の選挙規定は別に定める。)

※「会長選挙規定」

会長は総会において、推薦された者のうちから、選挙により過半数の賛成によって選出する。被推薦者が一名の場合、総会で承認する。

第七条 総会は本会の最高議決機関であり、毎年一回開催する。ただし評議員または委員過半数の要請がある場合には、会長は臨時総会を開かねばならない。

評議員会、委員会が必要に応じて開く。ただし構成員の過半数の要請がある場合には会長は評議員会または委員会を開かねばならない。

## 第五章 会 計

第八条 本会の会費は在学学生は年額千五百円とし、卒業生は年額三千円とし、入会金を千円とする。

第九条 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

編 集 後 記

- ★ 学問とは、唯むづかしき字を知り、解し難き古文を読み、和歌を楽み、詩を作るなど、世上に実のなき文学を云ふにあらず。(「学問のすゝめ」)
- ★ つまり、文学は学問ではないのです。文学を専攻し、『実学』で固められた現代へ乗り出して行く卒業生の皆さん、また、乗り出して行くこと自体を現代から拒否されてある皆さん、今こそ福沢諭吉のこの言葉を悔しく噛みしめようではありませんか。
- ★ そもそも現代とは何者か。変なヤツであることは確実ですが、その正体をつかむことができません。
- ★ そこで、現代の突端で仕事をされている先生たち、先輩たちにお集りいただき、ここに「現代」を特集いたしました。
- ★ 皆さんそれぞれに、ここからどのような現代を発見してくださるか。『虚学』なる文学を生きるその方向を、それぞれにこじ開けてくださるならば、

- 編集子の喜びこれに過ぎるものはございません。
- ★ 現代を撃て！ 少なくともそれに坑せよ！ とは申しませんが、やはり、ハラガヘツテハイクサハデキヌ。しかし：
- ★ 実は、本号へ執筆の先生方・先輩方の、その半数の青春時代を編集子は知っています。ほとんど塩をなめながら文学に賭けた人たちです。編集子となりますと、これはもう一つ世代が古く、いわゆる『飢えの世代』。日本中に食糧がなく、おにぎり一つで一日を生きたりしました。ご参考までに。
- ★ では、卒業生の皆さん、どうぞお元気で。編集部へのお便りをお待ちします。
- ★ お便りは順次「そとぼり通信」に紹介させていただきます。なお「そとぼり通信」は次号より和田康友さんの責任編集となります。新企画にご期待ください。

(田中 単之)

二〇〇〇年三月二十四日 発行	
日本文学誌要 第六一号	
編集部	坂本 勝 萩原 一雄 大越 嘉七 田中 単之
発行人	杉本 圭三郎
発行所	東京都千代田区富士見二ノ 十七ノ一法政大学八十年館 法政大学国文学会 電話〇三(3264)九七五二
口座番号	〇〇一六〇七六九四三
印刷所	ニチデン 電話〇四二三(九五)三七〇一